今週の富大生

# Weekly TOMIDAISEI

第54号

芸術文化学部
芸術文化学科
4年
富山県立富山南高等学校
（富山県出身）

## 心の在り方を絵という形で記録していく

### 空想の世界の絵を描いていた幼少期

小さい頃から絵を描くのが好きでした。思ったイメージを絵にしていました。空想の絵を描くことが多かったように思います。小学校高学年になると、ゲームのキャラクターの絵を描いていました。

### 心理か芸術かで揺れた進路選択

中学に入っても絵を描くことは好きでしたが、体を動かしたいと思い運動部に入りました。高校では、絵が描きたいと思い美術部に入部しました。抽象画や、油画にチャレンジしました。その場その場で描きたいと感じるものを絵にしてきました。
絵を描くことと同時に、心の在り方について高校生の時からよく考えていました。進路を考えた際に、人間の心の在り方について知りたいと思いました。もっと掘り下げて、心理の知識を得た後にどうしたいかを考えました。何かしらの形にして、心だけに留めず外に出したいと思い、芸術の分野に進もうと思いました。

### 総合大学の強みを生かせる芸術文化学部

芸術系に進学するのであればデッサンの練習が必要だと考えました。高校3年になる前の春休み、画塾に通い始めました。その時に、楽しさを覚え、この道で進んでいこうと心を決めました。
心の在り方についても考えたいという視点で、総合大学の中で心理学や文化に関する授業もある富山大学芸術文化学部芸術文化学科を受験し、進学を決めました。

### 2年次から一人暮らし

芸術文化学部では1年次は五福キャンパスで学び、2年次からは高岡キャンパスで学ぶことになります。1年次は実家から通学し、2年次からは高岡で一人暮らしを始めました。絵を描いていると時間の進みがとても速く、時間を忘れます。追い込みの時は夜の22時までアトリエで絵を描いているときもあります。

### 稲荷公園フリーアートキャンバスに参加

絵画を学んでいく中で、人と羽を自分の中のテーマとして強く意識するようになってきました。4月ごろに参加した「稲荷公園フリーアートキャンバス」で公園に描いた作品も、羽がテーマでした。公園ということで、明るい気持ちになるよう心掛けました。現在は卒業制作を進めていて、「自分を守る」ということをテーマに制作しています。最近の制作の中では、中心から末端に広がる葉脈のようなイメージが自分の表現したいものと合っていると気付きました。後半の卒業制作に活かしていきたいテーマです。

### 描きながら気づいた心の内を大切に

学部での学びは、手を動かすことよりも「何を描きたいのか」という自分の心の在り方を考えている時間が長かったです。実際に手を動かして描き始めると、長い時間をかけて構想を練っていても最初からやり直すことが多くありました。描きながら、想像していたものと違う物を描き始めることが多くあったためです。
学部の学びが終わったら大学院に進学する予定です。頭で考えてから手を動かすのではなく、これからは描きながら気づいた心の内や気づきを大切にして制作していきたいです。

Vol. 54

取材日：2025年6月12日